



実物大実験建物による 開口部の耐水圧試験

2020.11.17

信州大学工学部キャンパス構内

- 1.8 x 2.7 x 3.5 m³のRC造模型構造物を設置し試験を行う。
- 試験体内壁を実際の住宅の外壁とみなし、水を試験体内部に張る。
- 3mの高さまで水を張り、壁・開口部の変形を観察する。
- 試験結果を数理解析にて再現し、実験結果の一般化を行う。